

2016年1月吉日

燕舞会会員各位

第5期燕舞会会長 就任にあたり

会員の皆様、遅ればせながら明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかな新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。また、新 OBOG の皆さん、燕舞会ご入会おめでとうございます。

さる1月16日(土)の2015年度燕舞会総会におきまして、前任の本澤さんより会長職を引き継ぐ事になりました昭和53年東工大卒の佐藤弘美でございます。私を含めまして総会にて選出された役員によりまして第5期の「燕舞会」の活動をスタートいたしますので、あらためて会員皆様のご支援をお願いいたします。

燕舞会ではこれまで、第1期の新村会長の下、本会の基盤を構築して頂き、第2期は佐野会長のもと、現役部員の皆さんとの連携強化を図りました。(丁度、この時期は部員数も少なく、どうしたら、部の活況を取り戻せるか、燕舞会でも色々と議論したように記憶しております)第3期、4期の本澤会長時は、公式ホームページの立ち上げ、代表委員会のコンパクト化、若手 OBOG の思い切った登用による「機動力の向上」に努められました。

さて、第5期ですが、初年度には皆さんご存知のようにオール東工大舞踏研究部結成50周年記念式典(世にも素敵な金婚式)が開催される事になりました。この式典を皆さんと一緒に成功させると共に燕舞会を「会員の憩いの場/情報発信源」をキーワードとして活動してまいりたいと思います。現役との絆を更に深める事、また燕舞会本来の設立趣旨である「会員相互の親睦を深める」事、これらを両輪として活動を進めます。特に世代の近い会員同士の「横の繋がり」をサポートするための何がしかの工夫を手がけたいと考えています。

「燕舞会ゴルフ同好会」「燕舞会日帰りバスツアーの集い」「〇〇ホテルでのランチ会のお誘い」等々、それぞれの企画の幹事さんが利用できるような会員向け掲示板(「会員の集い(仮称)」をホームページ上に準備する事なども、その候補となるでしょう。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますと共に、繰返しになりますが本会発展のため、ご指導、ご支援をお願いして会長就任のご挨拶といたします。

燕舞会会長 佐藤 弘美(東工大 昭和53年卒)